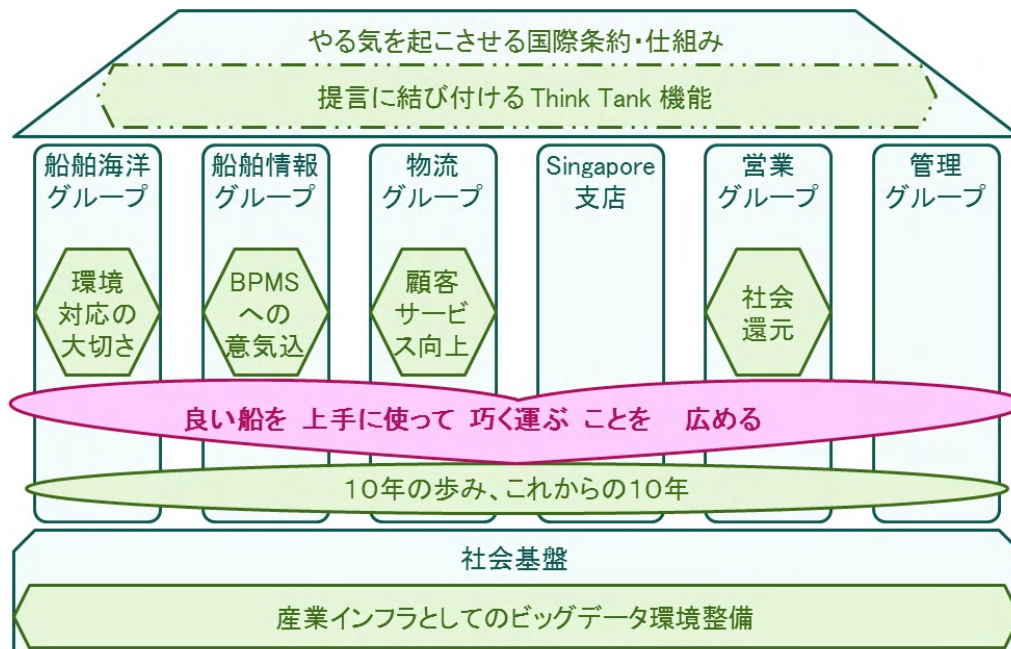


「閉会挨拶」

株式会社 MTI 常務取締役 川嶋 民夫

長い時間熱心に耳を傾けて頂き 誠に有難うございました。

これから本日の講演を振り返ってみたいと思います。MTI は、船舶海洋グループ、船舶情報グループ、物流グループ、シンガポール支店、営業グループ、管理グループから成り立っております。本日は、日本郵船副社長内藤様の基調講演の後、「環境対応船技術開発の現状と技術動向」で“環境対応の大切さ”を、「Vessel Performance Management System の取組みと今後の課題」で“その先にある Business Performance Management System を目指す意気込み”を、「MTI における営業活動(2014)」では“技術の社会還元”について述べさせて頂きました。その後休憩を挟み、「10年の歩み」の後、「MTI 物流技術開発の進展」で“現場力向上と顧客サービス向上”を、最後に「船陸オープンプラットフォーム構想とサービス開発」で会社の枠を飛び越えた話として、“産業インフラとしてのビッグデータ環境整備”の話をさせて頂きました。さて、ここで敢えて蛇足を付け加えますが、本日の講演で述べたことが前に転がっていく為には実はもう一つ大切なことがあると感じておりまして、「やる気を起こさせる国際条約や仕組み」もとても大切だと思います。従って、“提言に結び付ける Think Tank 機能”を MTI が持っていないのも良いのではないかと考えております。



生意気なことを申し上げましたが、本日講演しましたことは、良い船を上手に使うって 巧く運ぶことを 広める という、いわば当たり前のことが未だ道半ばだということです。従いまして、引続き皆様方の温かいご支援を宜しくお願い申し上げます。

本日は拙いところも沢山あったと存じますが、私達の想いが伝わっていたら幸いです。